

2次元バーコードリーダー マニュアル



Ver1.06

※日本語 QR コードを読み取る設定は
別紙をご確認下さい。

※本体の FW によって対応していない設定もございます。

初めてこのマニュアルより
設定を行う際は P12 の「設定方法」を
必ずご確認の上、設定を行って下さい。

目次

1. 機械寸法 (MD630)	8
2.各部説明 (MD630)	9
3.スタンドの利用	10
3-1. スタンドの組み立て	10
3-2. 自動検出 (スタンド利用時)	10
4.バーコードデータ	11
4-1. バーコードデータを送信する (日本語文字が含まれる QR コードを読まない場合)	11
4-2. バーコードデータを送信する (日本語文字が含まれる QR コードを読み取る場合)	11
5.設定方法	12
○設定について (設定前にご確認下さい)	12
○設定の注意	13
6.インターフェイスの設定	13
7.RS-232 の設定	14
7-1. ホストタイプ	14
7-2. フロー制御/フローコントロール	14
7-3. 文字間遅延 (RS-232)	15
7-4. コード間遅延 (RS-232)	15
7-5. BandRate	16
7-6. Parity bit	17
7-7. Data bit	17
7-8. Stop bit	17
8.USB インターフェイスの設定	18
8-1. USB デバイスタイプ	18
8-2. キーボードタイプ (USB)	19
8-3. 文字間遅延 (USB)	20
8-4. 数字キーのエミュレート (USB)	20
9. スキャンモード・その他設定	21
9-1 スキャン (照射) モード	21
9-2. 待機時間	22
9-3. 同一コード遅延	22
9-4. 送信前確認 (誤読チェック)	22
9-5. 桁数制限 (最大・1次元コードのみ) UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。	22
9-6. 桁数制限 (最小・1次元コードのみ) UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。	23
9-7. 要素の改正 (補正読取り)	23
9-8. 出力文字形式の制限	23
9-9. デコーダの最適化 (読取り強化)	24
9-10. 常時照射の送信遅延	24
9-11. 文字符号化方式 (キャラクタエンコード)	24
9-12. 完全出力後送信	25
10. インジケータ (音量・LED・読み取り音)	26

10-1	起動音	26
10-2	LED インジケータ	26
10-3	読み取り音の ON/OFF.....	26
10-4	ビープ音長	26
10-5	読み取り音のボリューム	27
11.	照射パターン（赤ライン LED・白 LED）の調整.....	28
11-1	デコード照明の点灯タイミング（白 LED 部分）	28
11-2	デコード標準パターン（赤ライン LED 部分）	28
11-3	密集バーコード読取り補助.....	29
11-6	白のバックライト調整（読み取り感度増加等）	29
12.	2次元バーコード設定（QR・DataMatrix 等）	30
12-1	コードの読取り設定.....	30
12-2	マルチシンボル読取り（連結 QR）MD630 は未対応です。	31
13.	UPC-A	32
13-1	UPC-A の読取り	32
13-2	UPC-A チェックディジットの確認.....	32
13-3	UPC-A チェックディジットの送信	32
13-4	UPC-A 補助桁（アドオンコード）	33
13-5	UPC-A 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）	33
14.	UPC-E	34
14-1	UPC-E の読取り	34
14-2	UPC-E チェックディジットの確認.....	34
14-3	UPC-E チェックディジットの送信	34
14-4	UPC-E 補助桁（アドオンコード）	35
14-5	UPC-E 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）	35
15.	JAN-13(ISBN/ISSN).....	36
15-1	JAN-13(ISBN/ISSN)の読取り	36
15-2	JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの確認.....	36
15-3	JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの送信.....	36
15-4	JAN-13 補助桁（アドオンコード）	37
15-5	ISBN/ ISSN 変換.....	37
16.	JAN-8	38
16-1	JAN-8 の読取り	38
16-2	JAN-8 チェックディジットの確認.....	38
16-3	JAN-8 チェックディジットの送信	38
16-4	JAN-8 補助桁（アドオンコード）	39
16-5	切り捨て・拡張.....	39
17.	CODE 39	40
17-1	CODE39 の読取り	40
17-2	CODE39 チェックディジットの確認.....	40
17-3	CODE39 チェックディジットの送信.....	40

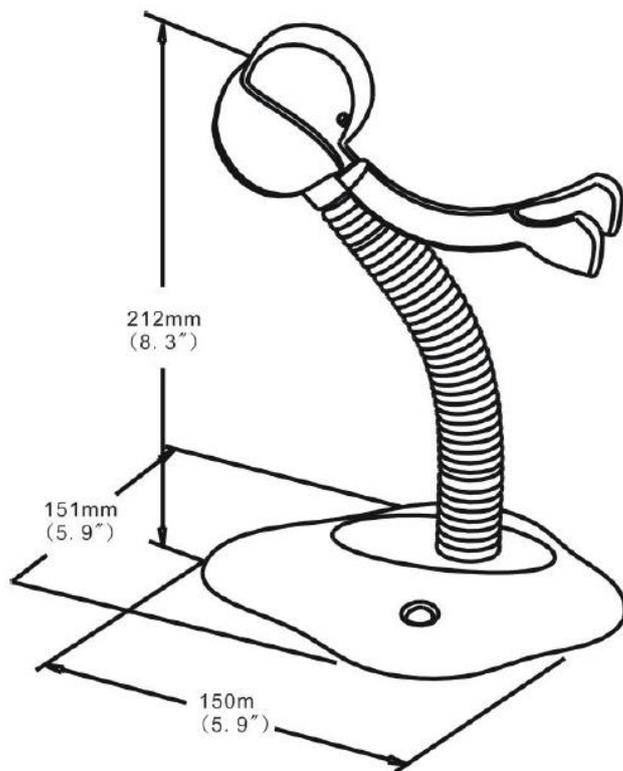
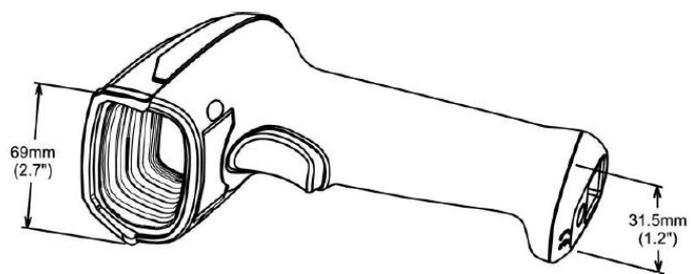
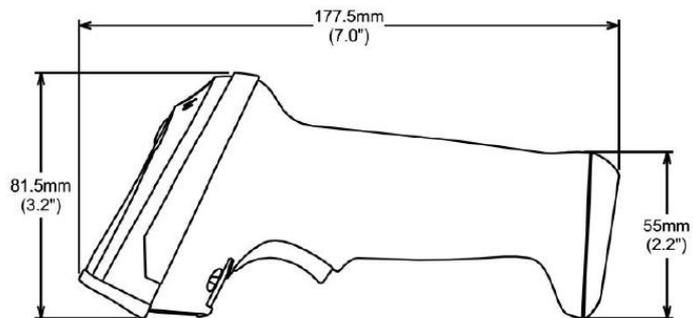
17-4	CODE39 : 最大読取り桁数	41
17-5	CODE39 : 最小読取り桁数	41
17-6	CODE39 : フォーマット	41
17-7	CODE39 : スタート・ストップ	42
17-8	“*” データ文字として認識	42
17-9	Code 39 を Code 32 に変換	42
17-10	コード 32 プレフィックス"A"送信	42
17-11	Trioptic Code 39 の読み取り	43
17-12	Trioptic Code 39 のスタート/エンド伝送	43
18.	Interleaved 2 of 5 (ITF)	44
18-1	Interleaved 2 of 5 の読取り	44
18-2	Interleaved 2 of 5 チェックディジットの確認	44
18-3	Interleaved 2 of 5 チェックディジットの送信	44
17-4	Interleaved 2 of 5 : 最大読取り桁数	45
17-5	Interleaved 2 of 5 : 最小読取り桁数	45
19.	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)	46
19-1	Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5) の読取り	46
19-2	Industrial 2 of 5 : 最大読取り桁数	46
19-3	Industrial 2 of 5 : 最小読取り桁数	46
20.	Matrix 2 of 5	47
20-1	Matrix 2 of 5 の読取り	47
20-2	Matrix 2 of 5 チェックディジットの確認	47
20-3	Matrix 2 of 5 チェックディジットの送信	47
20-4	Matrix 2 of 5 : 最大読取り桁数	48
20-5	Matrix 2 of 5 : 最小読取り桁数	48
21.	Codabar (NW-7)	49
21-1	Codabar の読取り	49
21-2	Codabar チェックディジットの確認	49
21-3	Codabar チェックディジットの送信	49
21-4	Codabar : 最大読取り桁数	50
21-5	Codabar : 最小読取り桁数	50
21-6	Codabar Start/End タイプ	50
21-7	Codabar Start/End の送信	51
21-7	Codabar 先頭末尾確認	51
22.	Code128	52
22-1	Code128 の読取り	52
22-2	Code128 チェックディジットの確認	52
22-3	Code128 チェックディジットの送信	52
22-4	Code128 : 最大読取り桁数	53
22-5	Code128 : 最小読取り桁数	53
22-6	Code128 先頭 0 の切り捨て	53

23.	UCC/EAN 128.....	54
23-1	UCC/EAN 128 の読取り	54
23-2	UCC/EAN 128 チェックディジットの確認.....	54
23-3	UCC/EAN 128 チェックディジットの送信	54
23-4	UCC/EAN 128 : 最大読取り桁数.....	55
23-5	UCC/EAN 128 : 最小読取り桁数.....	55
23-6	UCC/EAN 128 先頭 0 の切り捨て.....	55
24.	ISBT128	56
24-1	ISBT128 の読取り	56
24-2	ISBT128 チェックディジットの確認.....	56
24-3	ISBT128 チェックディジットの送信.....	56
24-4	ISBT128 : 最大読取り桁数	57
24-5	ISBT128 : 最小読取り桁数	57
25.	CODE93	58
25-1	CODE93 の読取り	58
25-2	CODE93 チェックディジットの確認.....	58
25-3	CODE93 チェックディジットの送信.....	58
25-4	CODE93 : 最大読取り桁数	59
25-5	CODE93 : 最小読取り桁数	59
26.	CODE11.....	60
26-1	CODE11 の読取り	60
26-2	CODE11 チェックディジットの確認.....	60
26-3	CODE11 チェックディジットの送信.....	60
26-4	CODE11 : 最大読取り桁数	61
26-5	CODE11 : 最小読取り桁数	61
27.	MSI/PLESSEY.....	62
27-1	MSI/PLESSEY の読取り	62
27-2	MSI/PLESSEY チェックディジットの確認.....	62
27-3	MSI/PLESSEY チェックディジットの送信	62
27-4	MSI/PLESSEY : 最大読取り桁数.....	63
27-5	MSI/PLESSEY : 最小読取り桁数.....	63
28.	UK/PLESSEY	64
28-1	UK/PLESSEY の読取り	64
28-2	UK/PLESSEY チェックディジットの確認.....	64
28-3	UK/PLESSEY チェックディジットの送信.....	64
28-4	UK/PLESSEY : 最大読取り桁数	65
28-5	UK/PLESSEY : 最小読取り桁数	65
29.	CHINA POST.....	66
29-1	CHINA POST の読取り	66
29-2	CHINA POST : 最大読取り桁数.....	66
29-3	CHINA POST : 最小読取り桁数.....	66

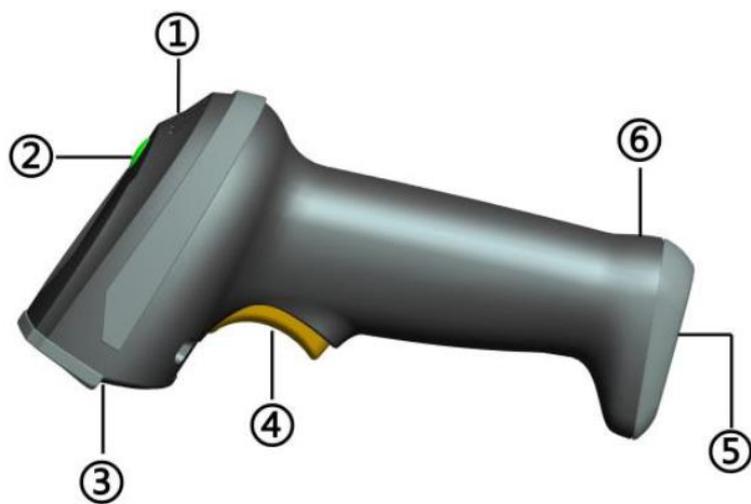
30. CHINA FINANCE	67
30-1 CHINA FINANCE の読取り	67
30-2 CHINA FINANCE : 最大読取り桁数	67
30-3 CHINA FINANCE : 最小読取り桁数	67
30-4 CHINA FINANCE : チェックディジットの確認	68
30-4 CHINA FINANCE : 先頭の文字 5/6/7/8/9 の A / B/ C/ D/ E に変換	68
30-5 CHINA FINANCE : 割当文字の読取り	69
31. TELEPEN	70
31-1 TELEPEN の読取り	70
31-2 TELEPEN チェックディジットの確認	70
31-3 TELEPEN チェックディジットの送信	70
31-4 TELEPEN : 最大読取り桁数	71
31-5 TELEPEN : 最小読取り桁数	71
31-6 ユニコード文字セットのタイプ	71
32. GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)	72
32-1 GS1 DataBar の読取り	72
32-2 GS1 DataBar の変換	72
33. GS1 DataBar Limited	73
33-1 GS1 DataBar Limited の読取り	73
33-2 GS1 DataBar Limited の変換	73
34. GS1 DataBar Expanded	74
34-1 GS1 DataBar Expanded の読取り	74
34-2 GS1 DataBar Expanded : 最大読取り桁数	74
34-3 GS1 DataBar Expanded : 最小読取り桁数	74
34-4 GS1 DataBar Expanded の読取り	75
35. PDF417	76
35-1 PDF417 の読取り	76
36. QR Code	77
36-1 QR Code の読取り	77
37. Data Matrix	78
37-1 Data Matrix の読取り	78
38. 出力文字の編集	79
38-1 先頭に文字を付加する	79
38-2 末尾に文字を付加する	82
38-3 文字を任意の位置に挿入する	85
38-4 文字を別の文字に置き換える。(置換機能)	89
38-5 文字を別の文字に置き換える。(置換機能・複数)	95
38-6 先頭又は末尾から文字を抜き出す	100
39.出力文字の編集 2	101
39-1 コード名の表示	101
39-2 コード ID の表示	101

39-3	コード名の文字数の出力	101
39-4	大文字→小文字 小文字→大文字固定変換送信	102
40.	コード ID のセッティング	103
40-1	コード ID の設定	103
41.	MD630 のバックライト明るさ設定	109
◆	数字コード（マルチスキャン設定時に御利用下さい）	110
◆	初期化	112
◆	バージョンの確認	112
◆	サンプルバーコード	112
◆	トラブルシューティング	116
Q1.	読み取り音はするが送信が出来ない。	116
Q2.	日本語入りの QR コードが送信できない・記号が違うものになる。	117
◆	スペック等	118
○	MD630	118
◆	メンテナンス	120

1. 機械寸法 (MD630)



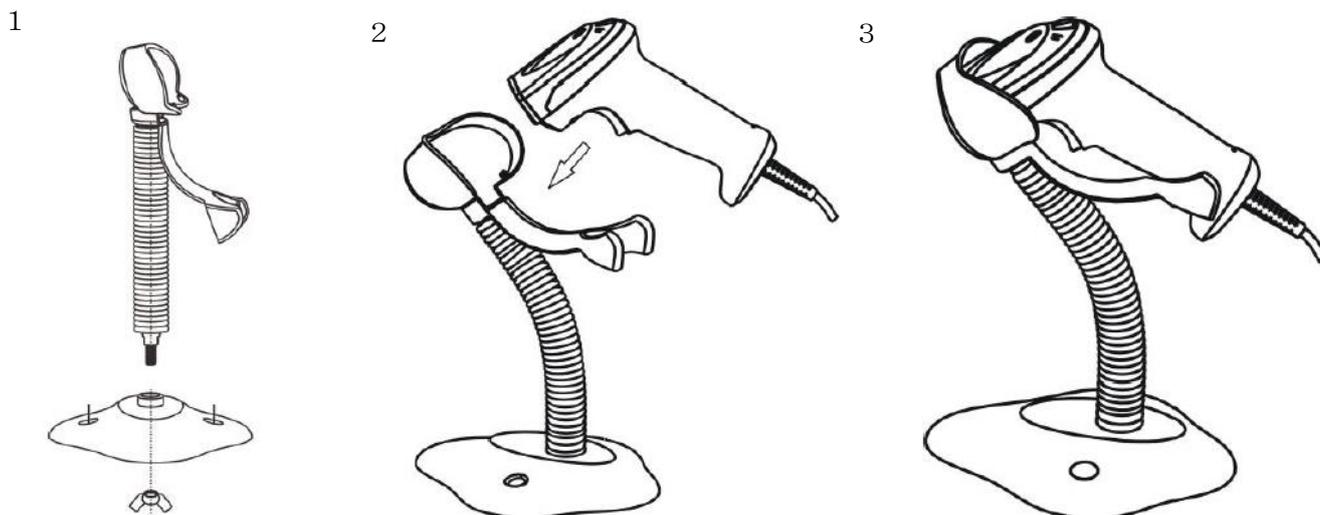
2.各部説明 (MD630)



- ① ビープ
- ② LED
- ③ スキャンウィンドウ
- ④ トリガー
- ⑤ ケーブルインターフェイス
- ⑥ ケーブルロック解除

3. スタンドの利用

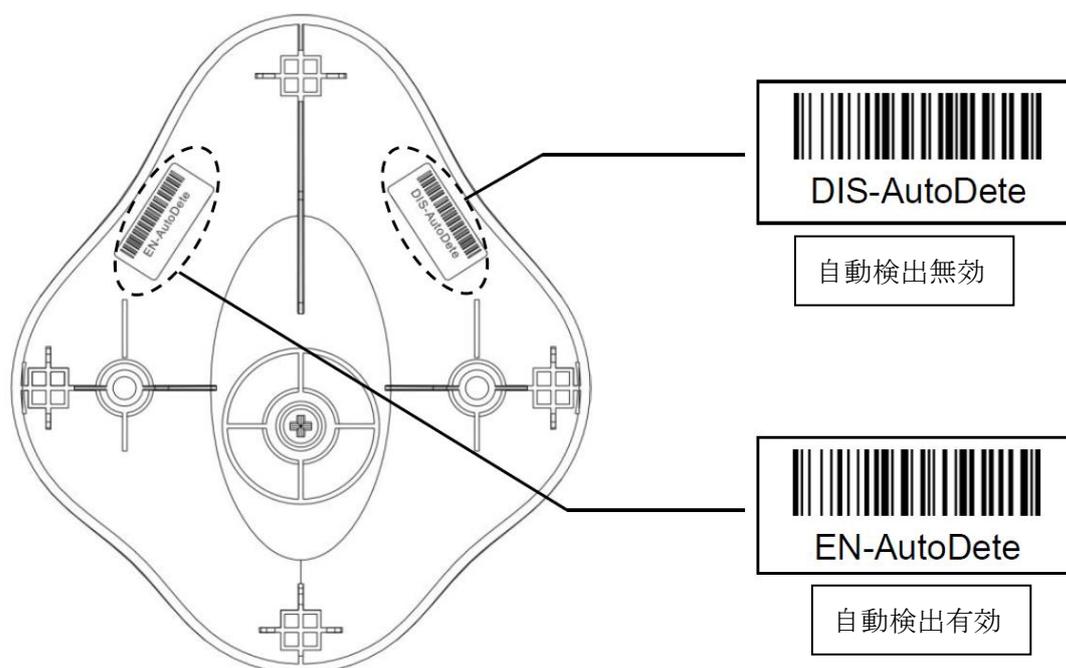
3-1. スタンドの組み立て



1. すべてのスタンドパーツを取り出し、ネジで固定します。
2. スキャナで読み取りやすい角度にスタンドの角度を調整して下さい。
3. スタンドにスキャナをセットして準備完了です。

3-2. 自動検出 (スタンド利用時)

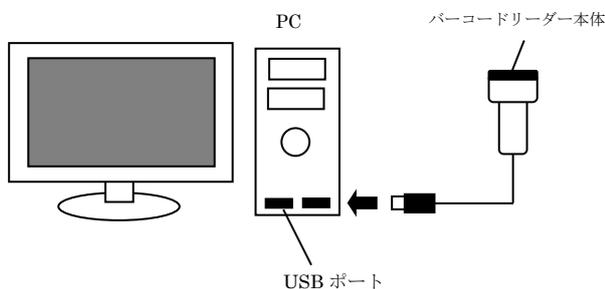
○スタンドご利用時はスタンド裏側のコードを読み取ることで
バーコードの自動検出 (オートスキャン・バーコードをかざして読み取り) が可能な
状態になります。



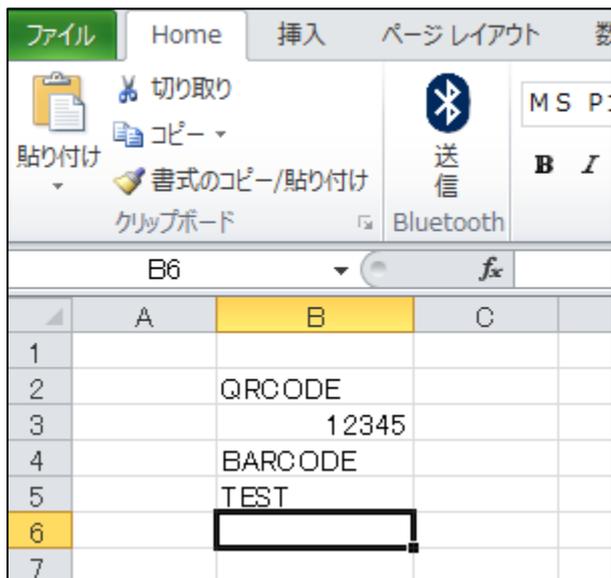
4.バーコードデータ

4-1. バーコードデータを送信する（日本語文字が含まれる QR コードを読まない場合）

- ①パソコンの電源を入れて Windows を起動します。
- ②読み取りを行う前に、本体の USB ケーブルコネクタをパソコンの任意の USB ポートに接続します。



- ③パソコンの USB ポートに接続するとビープ音が鳴り、電源が入ります。
- ④本機の読み取りボタンを押して、照射すると接続完了します。
- ⑤メモ帳や Excel を開きます。
- ⑦ 照射した光をバーコードにかざして「ピッ」という音が鳴り、読み取ったデータが PC に送信できれば読み取り完了です。



※「ピッ」と音だけして送信しない等、問題がある場合は P106 をご確認ください。

4-2. バーコードデータを送信する（日本語文字が含まれる QR コードを読み取る場合）

専用のソフトが必要になります。

設定に関しては「日本語 QR コードの送信.pdf」をご確認ください。

5.設定方法

○設定について（設定前にご確認下さい）

設定方法は下記の2種類がございます。

1. クイックバーコード設定 **※本体 FW によって設定が出来ない場合がございます。**

一つのバーコードを読み取ることで設定が可能です。

下記の「%1001D02%」のコードを読み取ると

「対応した2次元コード全て読み取り ON」が設定されます。

※設定後は USB ケーブルを抜き差しします。

対応した2次元コード全て読み取り ON



%1001D02%

2. マルチスキャン設定

バーコードを複数読み取ることで設定が可能です。

下記の「例1 設定内容」の文字間設定で20msの設定を行いたい場合は

例2のように「%0903M%」→「0」→「3」→「%END%」の順で

バーコードを読み取って下さい。

「0」～「9」の数字バーコード・「A」～「E」のアルファベットコードは

P108、P110を参照してください。

例1：設定内容

文字間遅延  %0903M%	数字コード	内容
	0→0	0ms（デフォルト）
	0→1	5ms
	0→2	10ms
	0→3	20ms

例2：「文字間遅延を20ms」に設定する。

文字間遅延を20ms入れる



%0903M%



0



3

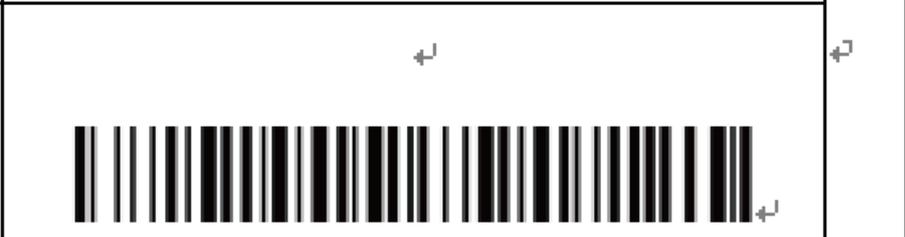


%END%

○設定の注意

読み取りの際は他のバーコードを巻き込んで

読み取らないように回りのコードを隠すか下記のように穴あきシートをご利用下さい。

内容	
標準規格※	
OPOS/JPOS	

6.インターフェイスの設定

バーコードリーダーでご利用になれるインターフェイスを固定化出来ます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
インターフェイスの設定  %0101M%	0→0	自動選択 ※デフォルト	 %0101D00%
	0→2	RS-232C 固定	 %0101D02%
	0→3	USB 固定	 %0101D03%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

7.RS-232 の設定

7-1. ホストタイプ

標準規格：通常の PC の RS-232C ポートを使用される際はこちらをご利用下さい。

OPOS/JPOS：OPOS/JPOS 等のシステム PC をご利用の際はこちらをご利用下さい。

ドライバはご利用されている OPOS/JPOS システムのものをご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
インターフェイスの設定  %0310M%	0→0	標準規格 ※デフォルト	 %0310D00%
	0→1	OPOS/JPOS	 %0310D01%

7-2. フロー制御/フローコントロール

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
フロー制御  %0301M%	0→0	None ※デフォルト	 %301D00%
	0→1	RTS/CTS (Host idle: Low RTS)	 %301D01%
	0→2	RTS/CTS (Host idle: High RTS)	 %301D02%
	0→3	XON/XOFF	 %301D03%
	0→4	ACK/NAK	 %301D04%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

7-3. 文字間遅延 (RS-232)

文字間遅延が必要な際にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 <p>文字間遅延 %0302M%</p>	0→0	0ms ※デフォルト	 %0302D00% *
	0→1	5ms	 %0302D01%
	0→2	10ms	 %0302D02%
	0→3	20ms	 %0302D03%
	0→4	40ms	 %0302D04%
	0→5	80ms	 %0302D05%

7-4. コード間遅延 (RS-232)

バーコードの読み取りの間に遅延を入れます。

「%0304M%」を読み取り遅延を入れたい時間 (ms) を指定します。

例：10ms のコード間遅延を入れる

「%0304M%」 → 「1」 → 「0」 → 「%END%」 の順で読み取る。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 <p>%0304M%</p>	0→0	遅延なし
	自由 (9→9) が最大	1ms の場合は「0」 → 「1」 10ms の場合は「1」 → 「0」 の順で読み取る。 最大は「9」 → 「9」 の 99ms

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

7-5. BandRate

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 <p>Baud rate %0305M%</p>	0→0	300	 %0305D00%
	0→1	600	 %0305D01%
	0→2	1200	 %0305D02%
	0→3	2400	 %0305D03%
	0→4	4800	 %0305D04%
	0→5	9600 ※デフォルト	 %0305D05% *
	0→6	19200	 %0305D06%
	0→7	38400	 %0305D07%
	0→8	57600	 %0305D08%
	0→9	115200	 %0305D09%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

7-6. Parity bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 <p>Parity bit %0306M%</p>	0→0	None ※デフォルト	 <p>%0306D00% *</p>
	0→1	Odd	 <p>%0306D01%</p>
	0→2	Even	 <p>%0306D02%</p>

7-7. Data bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 <p>Data bit %0307M%</p>	0→0	8bit ※デフォルト	 <p>%0307D00% *</p>
	0→1	7bit	 <p>%0307D01%</p>

7-8. Stop bit

RS-232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 <p>Stop bit %0308M%</p>	0→0	One bit ※デフォルト	 <p>%0308D00% *</p>
	0→1	Two bits	 <p>%0308D01%</p>

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

8.USB インターフェイスの設定

8-1. USB デバイスタイプ

USB 接続の際の制御方法を指定します。

設定後は **USB** の抜き差しが必要です。

○説明

HID キーボード：WindowsPC 等と接続される際はこちらをご利用下さい

HID (Apple Mac)：Macbook 等の AppleMac 製品をご利用の際はこちらをご利用下さい

VirtualCom：COM エミュレーションが必要な際にご利用下さい。

SimpleCOM：ホスト側で指定がある場合にご利用下さい。

HID OPOS/JPOS：OPOS/JPOS でご利用の際に設定して下さい。

ドライバは別途、OPOS/JPOS のものをご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0901M%	0→0	HID キーボード ※デフォルト	 %0901D00% *
	0→1	HID キーボード (Apple Mac)	 %0901D01%
	0→2	Virtual COM	 %0901D02%
	0→3	Simple COM エミュレーション	 %0901D03%
	0→4	HID OPOS/JPOS	 %0901D04%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

8-2. キーボードタイプ (USB)

お使いの PC に合わせて設定を行って下さい。

通常は「日本語」ですが、ネットブックやノート PC は「US」の場合がございます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0902M%	0→0	US ※デフォルト	 %0902D00% *
	0→1	Turkish F	 %0902D01%
	0→2	Turkish Q	 %0902D02%
	0→3	French	 %0902D03%
	0→4	Italian	 %0902D04%
	0→5	Spanish	 %0902D05%
	0→6	Slovak	 %0902D06%
	0→7	Denmark	 %0902D07%
	0→8	Japanese (日本語)	 %0902D08%
	0→9	German	 %0902D09%
	1→0	Belgian	 %0902D10%
	1→1	Russian	 %0902D11%
	1→2	Czech	 %0902D12%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

8-3. 文字間遅延 (USB)

バーコードデータ文字毎に遅延を入れる設定です。

お使いの PC よりバーコードリーダーの送信速度が早く、
処理ができない場合などにご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0903M%	0→0	0ms ※デフォルト	 %0903D00% *
	0→1	5ms	 %0903D01%
	0→2	10ms	 %0903D02%
	0→3	20ms	 %0903D03%
	0→4	40ms	 %0903D04%
	0→5	60ms	 %0903D05%

8-4. 数字キーのエミュレート (USB)

アルファベットキー：キーボードの数字キーを使い送信を行います。

テンキー：「1～9」の数字キー、「+」「-」「*」「/」「.」キーをテンキー操作で送信します。

Alt+keypad：様々なキーボード体型用の送信方法です。

Num Lock キーのコントロールキーがオンでなければならないことに注意してください。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0904M%	0→0	アルファベット キー ※デフォルト	 %0904D00% *
	0→1	テンキー	 %0904D01%
	0→2	Alt+keypad	 %0904D02%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

9. スキャンモード・その他設定

9-1 スキャン（照射）モード

内容	説明
グッドリード	トリガーを引いてコードを読み取るか一定時間立つまで照射します。
トリガーモード	トリガーを引いている間、照射を続けます。
トリガー交互	トリガーを1度引くと照射開始、もう一度トリガーを引いてコードを読むと消灯。
常時照射	トリガーの操作無し状態で照射が出続けます。
タイムアウト OFF	トリガーを引いて一定時間立つまで照射します。
自動検出	バーコードを近づけると自動で照射し読取りを行えます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0401M%	0→0	グッドリード	 %0401D00%
	0→1	トリガーモード ※デフォルト	 %0401D01% *
	0→2	トリガー交互	 %0401D02%
	0→3	常時照射	 %0401D03%
	0→4	タイムアウト OFF	 %0401D04%
	0→5	自動検出 ※ATシリーズのみ	 %0401D05%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

9-2. 待機時間

グッドリード・タイムアウト OFF・自動検出モード時に

照射する時間の設定を行います。2桁数字を読取ります。

例：「0」→「4」だと4秒 「1」→「0」だと10秒の照射が行われます。※最大99秒まで

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0402M%	01～99 まで可能。	照射時間 ※デフォルト4秒	無し

9-3. 同一コード遅延

常時照射モードの際に同一コードを連続して読み取る際に設定した時間、読取りを無効にします。

設定した値×50msが反映されます。

例：「0」→「4」だと4×50=200ミリ秒 「1」→「0」だと500ミリ秒の読取りが無効になります。

※最大99まで、「F」→「F」と設定すると同じコードの連続読み取りを禁止します。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0403M%	01～99まで可能。 「F」→「F」で 直前同一コード禁止	同一コード遅延 ※デフォルト400ms	無し

9-4. 送信前確認（誤読チェック）

指定した回数、バーコードを誤読していないかチェックを行います。

例：「0」→「4」だと4回 「1」→「0」だと10回のチェックが入ります。※最大09まで

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0404M%	01～09 まで可能。	送信前確認 ※デフォルト00	無し

9-5. 桁数制限（最大・1次元コードのみ）UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8には無効です。

指定した桁数より大きい桁数のバーコードの読取りを無効にします。

例：「0」→「4」だと4桁 「1」→「0」だと10桁まで読取ります。※最大99まで

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0405M%	01～99 まで可能。	送信前確認 ※デフォルト99	無し

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

9-6. 桁数制限（最小・1次元コードのみ）UPC-A、UPC-E、JAN-13、JAN-8 には無効です。

指定した桁数より小さい桁数のバーコードの読取りを無効にします。

例：「0」→「4」だと4桁 「1」→「0」だと10桁まで読取ります。※最大99まで

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0406M%	01～09 まで可能。	最小桁数制限 ※デフォルト 04	無し

9-7. 要素の改正（補正読取り）

バーコードの幅が異なっていたり、印字がかすれていたたりして

読めないバーコードデータを補正し取り込む設定です。

誤読が頻発する場合は OFF にします。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0408M%	0→0	補正読取り OFF	 %0408D00%
	0→1	補正読取り ON ※デフォルト	 %0408D01% *

9-8. 出力文字形式の制限

印刷可能な文字や英数字だけの送信などを行えます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0409M%	0→0	制限なし ※デフォルト	 %0409D00% *
	0→1	印刷可能文字のみ	 %0409D01%
	0→2	英数字のみ	 %0409D02%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

9-9. デコーダの最適化（読取り強化）

読取りの最適化を行います。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0410M%	0→0	無効	 %0410D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0410D01% *

9-10. 常時照射の送信遅延

指定した桁数より大きい桁数のバーコードの読取りを無効にします。

例：「0」→「4」だと 4 ms 「1」→「0」だと 10 ms まで読取ります。※最大 99 まで

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0411M%	01～99 まで可能。	送信前確認 ※デフォルト 00	無し

9-11. 文字符号化方式（キャラクタエンコード）

ソフト側で指定がある場合にご利用下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0413M%	0→0	ASCII ※デフォルト	 %0413D00% *
	0→1	UTF-8	 %0413D01%
	0→2	Windows-1251	 %0413D02%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

9-12. 完全出力後送信

P14 のキーボード設定が HID キーボード又は HID (Apple Mac) の場合に機能します。

読み取ったバーコードが完全に送信されるまで次のバーコードの送信を行いません。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0414M%	0→0	無効	 %0414D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0414D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

10. インジケータ（音量・LED・読み取り音）

10-1 起動音

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0501M%	0→0	無効	 %0501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0501D01% *

10-2 LED インジケータ

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0502M%	0→0	無効	 %0502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0502D01% *

10-3 読み取り音の ON/OFF

読み取り音の ON・OFF を設定できます。音調や音量は 10-4、10-5 より設定ください。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0503M%	0→0	無効	 %0503D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %0503D01% *

10-4 ビープ音長

01～09 までの設定が可能です。

例：04 と設定する場合は「0」→「4」の順で読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0504M%	01-09 まで可能	デフォルト：5	

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

10-5 読み取り音のボリューム

読み取り音を OFF にする場合は 10-3 をご確認ください。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %0505M%	0→0	小	 %0505D00%
	0→1	中	 %0505D01%
	0→2	大 ※デフォルト	 %0505D02% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

11. 照射パターン（赤ライン LED・白 LED）の調整

11-1 デコード照明の点灯タイミング（白 LED 部分）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %9001M%	0→0	常にオフ	 %9001D00%
	0→1	常時オン	 %9001D01%
	0→2	点滅	 %9001D02%
	0→3	読み取り時に ON ※デフォルト	 %9001D03% *

11-2 デコード標準パターン（赤ライン LED 部分）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %9002M%	0→0	常にオフ	 %9002D00%
	0→1	常時オン	 %9002D01%
	0→2	読取り前のみ ON	 %9002D02%
	0→3	読み取り時に ON ※デフォルト	 %9002D03% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

11-3 密集バーコード読取り補助

有効にすることで下記のように

他のバーコードを巻き込んで読み取る際にバーコードの誤送信を減らします。



マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1004M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1004D00% *
	0→1	有効	 %1004D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

11-6 白のバックライト調整（読み取り感度増加等）

バーコード読み取りの際の読み取りを補助します。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %9003M%	0→0	OFF	
	0→1	60% ※デフォルト	
	0→2	80%	
	0→3	100%	

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

12. 2次元バーコード設定 (QR・DataMatrix 等)

12-1 コードの読取り設定

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1001M%	0→0	コードごとの設定に従う ※デフォルト	 %1001D00% *
	0→1	2次元コードを読み取らない。	 %1001D01%
	0→2	2次元コードを全て読み取る。	 %1001D02%
	0→3	PDF417のみ読み取る。	 %1001D03%
	0→4	QRコードのみ読み取る	 %1001D04%
	0→5	Data Matrixのみ読み取る	 %1001D05%
	0→6	Maxi Codeのみ読み取る	 %1001D06%
	0→7	Aztec Codeのみ読み取る	 %1001D07%
	0→8	Han Xin Codeのみ読み取る	 %1001D08%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

12-2 マルチシンボル読取り（連結 QR）MD630 は未対応です。

有効にすることで、下記のサンプル図 1 のように分割されたバーコードを 1 つのバーコードとして読取りが可能です。

無効の場合、赤いライン LED に近いコードを優先的に読取ります。



サンプル図 1

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1003M%	0→0	有効	 %1003D00%
	0→1	無効 ※デフォルト	 %1003D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

※MD630 ではご利用いただけません。

13. UPC-A

13-1 UPC-A の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1101M%	0→0	無効	 %1101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1101D01% *

13-2 UPC-A チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1102M%	0→0	無効	 %1102D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1102D01% *

13-3 UPC-A チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1103M%	0→0	無効	 %1103D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1103D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

13-4 UPC-A 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1106M%	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1106D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %1106D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1106D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1106D03%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

13-5 UPC-A 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1107M%	0→0	何もしない ※デフォルト	 %1107D00% *
	0→1	0 を切り捨て	 %1107D01%
	0→2	JAN13 に変換	 %1107D02%
	0→3	システム文字 切り捨て	 %1107D03%
	0→4	国コード（US）の 追加	 %1107D04%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

14. UPC-E

14-1 UPC-E の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1201M%	0→0	無効	 %1201D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1201D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

14-2 UPC-E チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1202M%	0→0	無効	 %1202D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1202D01% *

14-3 UPC-E チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1203M%	0→0	無効	 %1203D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1203D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

14-4 UPC-E 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1206M%	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1206D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %1206D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1206D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1206D03%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

14-5 UPC-E 送信変換（切り捨て・JAN への変換など）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1207M%	0→0	何もしない ※デフォルト	 %1207D00% *
	0→1	0 を切り捨て	 %1207D01%
	0→2	JAN13 に変換	 %1207D02%
	0→3	UPC-A に変換	 %1207D03%
	0→4	システムの文字を 切り捨て	 %1207D04%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

15. JAN-13(ISBN/ISSN)

15-1 JAN-13(ISBN/ISSN)の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1301M%	0→0	無効	 %1301D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1301D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

15-2 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1302M%	0→0	無効	 %1302D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1302D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

15-3 JAN-13(ISBN/ISSN)チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1303M%	0→0	無効	 %1303D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1303D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

15-4 JAN-13 補助桁（アドオンコード）

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1306M%	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1306D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %1306D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1306D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1306D03%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

15-5 ISBN/ISSN 変換

JAN コードを ISSN・ISBN の形式に変換します。

例：

バーコード「9780194315104」、出力："019431510X"。

バーコード「9771005180004」、出力："10051805"。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1307M%	0→0	無効	 %1307D00% *
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1307D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

16. JAN-8

16-1 JAN-8 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1401M%	0→0	無効	 %1401D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1401D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

16-2 JAN-8 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1402M%	0→0	無効	 %1402D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1402D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

16-3 JAN-8 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1403M%	0→0	無効	 %1403D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1403D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

16-4 JAN-8 補助桁 (アドオンコード)

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1407M%	0→0	補助コード 読取りなし。 ※デフォルト	 %1406D00% *
	0→1	2 digits 有効	 %1406D01%
	0→2	5 digits 有効	 %1406D02%
	0→3	2 と 5digits 有効	 %1406D03%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

16-5 切り捨て・拡張

無し：何もしません。

先頭0切り捨て：先頭の0を切り捨てて送信します。

JAN-13に拡張：JAN13の形式にデータを変換します。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1407M%	0→0	無し ※デフォルト	 %1407D00% *
	0→1	先頭0切り捨て	 %1407D01%
	0→2	JAN-13に拡張	 %1407D02%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

17. CODE 39

17-1 CODE39 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1501M%	0→0	無効	 %1501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1501D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

17-2 CODE39 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1502M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1502D00% *
	0→1	有効	 %1502D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

17-3 CODE39 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1503M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1503D00% *
	0→1	有効	 %1503D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

17-4 CODE39 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

1. マルチスキャン設定より「%1503M%」を読取り
2. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
3. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %1504M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

17-5 CODE39 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

1. マルチスキャン設定より「%1504M%」を読取り
2. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
3. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %1505M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

17-6 CODE39 : フォーマット

CODE39 のバーコード形式に合わせて設定を行って下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1508M%	0→0 ※デフォルト	通常の CODE39	 %1509D00% *
	0→1	FullASC II 形式	 %1509D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

17-7 CODE39 : スタート・ストップ

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1509M%	0→0 ※デフォルト	送信しない ※デフォルト	 %1509D00% *
	0→1	送信する	 %1509D01%

17-8 “*” データ文字として認識

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1510M%	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	 %1510D00% *
	0→1	有効	 %1510D01%

17-9 Code 39 を Code 32 に変換

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1511M%	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	 %1511D00% *
	0→1	有効	 %1511D01%

17-10 コード 32 プレフィックス"A"送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1512M%	0→0 ※デフォルト	無効 ※デフォルト	 %1512D00% *
	0→1	有効	 %1512D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

17-11 Trioptic Code 39 の読み取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1513M%	0→0 ※デフォルト	送信なし ※デフォルト	 %1513D00% *
	0→1	送信あり	 %1513D01%

17-12 Trioptic Code 39 のスタート/エンド伝送

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1514M%	0→0 ※デフォルト	送信なし ※デフォルト	 %1514D00% *
	0→1	送信あり	 %1514D01%

18. Interleaved 2 of 5 (ITF)

18-1 Interleaved 2 of 5 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1601M%	0→0	無効	 %1601D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1601D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

18-2 Interleaved 2 of 5 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1602M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1602D00% *
	0→1	USS	 %1602D01%
	0→2	OPCC	 %1602D02%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

18-3 Interleaved 2 of 5 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1603M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1603D00% *
	0→1	有効	 %1603D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

17-4 Interleaved 2 of 5 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

1. マルチスキャン設定より「%1604M%」を読取り
2. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
3. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %1604M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

17-5 Interleaved 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

1. マルチスキャン設定より「%1605M%」を読取り
2. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
3. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %1605M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

19. Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)

19-1 Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5)の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1701M%	0→0 ※デフォルト	無効	 %1701D00% *
	0→1	有効	 %1701D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

19-2 Industrial 2 of 5 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

1. マルチスキャン設定より「%1702M%」を読取り
2. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
3. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %1702M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

19-3 Industrial 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

1. マルチスキャン設定より「%1703M%」を読取り
2. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
3. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %1703M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

20. Matrix 2 of 5

20-1 Matrix 2 of 5 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1801M%	0→0	無効	 %1801D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1801D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

20-2 Matrix 2 of 5 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1802M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1802D00% *
	0→1	有効	 %1802D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

20-3 Matrix 2 of 5 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1803M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1803D00% *
	0→1	有効	 %1803D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

20-4 Matrix 2 of 5 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

1. マルチスキャン設定より「%1804M%」を読取り
2. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
3. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
%1804M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

20-5 Matrix 2 of 5 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

1. マルチスキャン設定より「%1805M%」を読取り
2. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
3. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
%1805M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

21. Codabar (NW-7)

21-1 Codabar の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1901M%	0→0	無効	 %1901D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %1901D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

21-2 Codabar チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1902M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1902D00% *
	0→1	有効	 %1902D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

21-3 Codabar チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1903M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1903D00% *
	0→1	有効	 %1903D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

21-4 Codabar : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20桁までのバーコードを読み取る

4. マルチスキャン設定より「%1904M%」を読取り
5. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
6. これで20桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %1904M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

21-5 Codabar : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5桁からのバーコードを読み取る

4. マルチスキャン設定より「%1905M%」を読取り
5. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
6. これで5桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %1905M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

21-6 Codabar Start/End タイプ

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1908M%	0→0 ※デフォルト	ABCD/ABCD ※デフォルト	 %1908D00% *
	0→1	abcd/abcd	 %1908D01%
	0→2	ABCD/TN*E	 %1908D02%
	0→3	abcd/tn*e	 %1908D03%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

21-7 Codabar Start/End の送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1909M%	0→0	送信しない ※デフォルト	 %1909D00% *
	0→1	送信する	 %1909D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

21-7 Codabar 先頭末尾確認

有効にすることで CodaBar の開始文字と終了文字が同じで無ければなりません。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %1910M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %1910D00% *
	0→1	有効	 %1910D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

22. Code128

22-1 Code128 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2001M%	0→0	無効	 %2001D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2001D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

22-2 Code128 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2002M%	0→0	無効	 %2002D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2002D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

22-3 Code128 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2003M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2003D00% *
	0→1	有効	 %2003D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

22-4 Code128 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

7. マルチスキャン設定より「%1503M%」を読取り
8. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
9. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2004M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

22-5 Code128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

7. マルチスキャン設定より「%1504M%」を読取り
8. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
9. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2005M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

22-6 Code128 先頭 0 の切り捨て

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2008M%	0→0 ※デフォルト	無効	 %2008D00% *
	0→1	先頭全ての 0 例:0001 では「1」	 %2008D01%
	0→2	先頭の 0 のみ 例:0001 では「001」	 %2008D02%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

23. UCC/EAN 128

23-1 UCC/EAN 128 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2501M%	0→0	無効	 %2501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2501D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

23-2 UCC/EAN 128 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2502M%	0→0	無効	 %2502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2502D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

23-3 UCC/EAN 128 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2503M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2503D00% *
	0→1	有効	 %2503D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

23-4 UCC/EAN 128 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

10. マルチスキャン設定より「%2504M%」を読取り
11. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
12. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2504M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

23-5 UCC/EAN 128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

10. マルチスキャン設定より「%2505M%」を読取り
11. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
12. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2505M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

23-6 UCC/EAN 128 先頭 0 の切り捨て

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2508M%	0→0 ※デフォルト	無効	 %2508D00% *
	0→1	先頭全ての 0 例:0001 では「1」	 %2508D01%
	0→2	先頭の 0 のみ 例:0001 では「001」	 %2508D02%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

24. ISBT128

24-1 ISBT128 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3301M%	0→0	無効	 %3301D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3301D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

24-2 ISBT128 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3302M%	0→0	無効	 %3302D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3302D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

24-3 ISBT128 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3303M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %3303D00% *
	0→1	有効	 %3303D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

24-4 ISBT128 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

13. マルチスキャン設定より「%3304M%」を読取り
14. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
15. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %3304M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

24-5 ISBT128 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

13. マルチスキャン設定より「%3305M%」を読取り
14. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
15. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %3305M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

25. CODE93

25-1 CODE93 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2101M%	0→0	無効	 %2101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2101D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

25-2 CODE93 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2102M%	0→0	無効	 %2102D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2102D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

25-3 CODE93 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2103M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2103D00% *
	0→1	有効	 %2103D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

25-4 CODE93 : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

16. マルチスキャン設定より「%2104M%」を読取り
17. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
18. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2104M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

25-5 CODE93 : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

16. マルチスキャン設定より「%2105M%」を読取り
17. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
18. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2105M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

26. CODE11

26-1 CODE11 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2201M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2201D00% *
	0→1	有効	 %2201D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

26-2 CODE11 チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2202M%	0→0	無効	 %2202D00%
	0→1	1 デジット ※デフォルト	 %2202D01% *
	予約領域 (今後追加予定です。)		
	予約領域 (今後追加予定です。)		

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

26-3 CODE11 チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2203M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2203D00% *
	0→1	有効	 %2203D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

26-4 CODE11：最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20桁までのバーコードを読み取る

19. マルチスキャン設定より「%2204M%」を読取り
20. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
21. これで20桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
%2204M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

26-5 CODE11：最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5桁からのバーコードを読み取る

19. マルチスキャン設定より「%2205M%」を読取り
20. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
21. これで5桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
%2205M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

27. MSI/PLESSEY

27-1 MSI/PLESSEY の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2301M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2301D00% *
	0→1	有効	 %2301D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

27-2 MSI/PLESSEY チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2302M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2302D00% *
	0→1	1 デジット (mod10)	 %2302D01%
			予約領域 (今後追加予定です。)
			予約領域 (今後追加予定です。)

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

27-3 MSI/PLESSEY チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2303M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2303D00% *
	0→1	有効	 %2303D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

27-4 MSI/PLESSEY : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

22. マルチスキャン設定より「%2304M%」を読取り
23. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
24. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2304M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

27-5 MSI/PLESSEY : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

22. マルチスキャン設定より「%2305M%」を読取り
23. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
24. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2305M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

28. UK/PLESSEY

28-1 UK/PLESSEY の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2401M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2401D00% *
	0→1	有効	 %2401D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

28-2 UK/PLESSEY チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2402M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2402D00%
	0→1	1 デジット (mod10)	 %2402D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

28-3 UK/PLESSEY チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2303M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %2403D00% *
	0→1	有効	 %2403D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

28-4 UK/PLESSEY : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

25. マルチスキャン設定より「%2404M%」を読取り

26. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。

27. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2404M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

28-5 UK/PLESSEY : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

25. マルチスキャン設定より「%2405M%」を読取り

26. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。

27. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2405M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

29. CHINA POST

29-1 CHINA POST の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2601M%	0→0	無効	 %2601D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2601D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

29-2 CHINA POST : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

28. マルチスキャン設定より「%2604M%」を読取り

29. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。

30. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2604M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

29-3 CHINA POST : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

28. マルチスキャン設定より「%2605M%」を読取り

29. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。

30. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2405M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

30. CHINA FINANCE

30-1 CHINA FINANCE の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3201M%	0→0	無効	 %3201D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3201D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

30-2 CHINA FINANCE : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

31. マルチスキャン設定より「%2604M%」を読取り
32. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。
33. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %3202M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

30-3 CHINA FINANCE : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

31. マルチスキャン設定より「%2605M%」を読取り
32. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。
33. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %3203M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

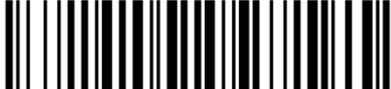
※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

30-4 CHINA FINANCE : チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3204M%	0→0	無効	 %3204D00% *
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3204D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

30-4 CHINA FINANCE : 先頭の文字 5/6/7/8/9 の A / B / C / D / E に変換

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3205M%	0→0	無効	 %3205D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3205D01% *
	0→2	5 のみ A にする	 %3205D02%
	0→3	6 のみ B にする	 %3205D03%
	0→4	7 のみ C にする	 %3205D04%
	0→5	8 のみ D にする	 %3205D05%
	0→6	9 のみ E にする	 %3205D06%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

30-5 CHINA FINANCE : 割当文字の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 <p>%3206M%</p>	0→0	無効	 <p>%3206D00%</p>
	0→1	割り当て : 0 ※デフォルト	 <p>%3206D01% *</p>
	0→2	割り当て : 5 (A)	 <p>%3206D02%</p>
	0→3	割り当て : 6 (B)	 <p>%3206D03%</p>
	0→4	割り当て : 7 (C)	 <p>%3206D04%</p>
	0→5	割り当て : 8 (D)	 <p>%3206D05%</p>
	0→6	割り当て : 9 (E)	 <p>%3206D06%</p>
	0→7	割り当て : 1	 <p>%3206D07%</p>
	0→8	割り当て : 2	 <p>%3206D08%</p>
	0→9	割り当て : 3	 <p>%3206D09%</p>
	1→0	割り当て : 4	 <p>%3206D10%</p>

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

31. TELEPEN

31-1 TELEPEN の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3501M%	0→0	無効	 %3501D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3501D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

31-2 TELEPEN チェックディジットの確認

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3502M%	0→0	無効	 %3502D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3502D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

31-3 TELEPEN チェックディジットの送信

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3503M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %3503D00% *
	0→1	有効	 %3503D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

31-4 TELEPEN : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

34. マルチスキャン設定より「%3504M%」を読取り

35. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。

36. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %3504M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

31-5 TELEPEN : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

34. マルチスキャン設定より「%3505M%」を読取り

35. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。

36. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %3505M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

31-6 ユニコード文字セットのタイプ

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3508M%	0→0 ※デフォルト	英数字 ※デフォルト	 %3508D00% *
	0→1	数値	 %3508D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

32. GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)

32-1 GS1 DataBar の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2701M%	0→0	無効	 %2701D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2701D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

32-2 GS1 DataBar の変換

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2704M%	0→0	なし	 %2704D00% *
	0→1	UCC/ JAN128	 %2704D01%
	0→2	UPC-A or JAN-13	 %2704D02%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

33. GS1 DataBar Limited

33-1 GS1 DataBar Limited の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2801M%	0→0	無効	 %2801D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2801D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

33-2 GS1 DataBar Limited の変換

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2804M%	0→0	なし	 %2804D00% *
	0→1	UCC/ JAN128	 %2804D01%
	0→2	UPC-A or JAN-13	 %2804D02%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

34. GS1 DataBar Expanded

34-1 GS1 DataBar Expanded の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2901M%	0→0	無効	 %2901D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2901D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

34-2 GS1 DataBar Expanded : 最大読取り桁数

最大の読取り桁数を設定します。指定した桁数より大きい桁のコードは読取りません。

例：20 桁までのバーコードを読み取る

37. マルチスキャン設定より「%2902M%」を読取り

38. 数字コード P108、P110 より「2」→「0」の順で読取り。

39. これで 20 桁までのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2902M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁までのバーコードを読みます。

34-3 GS1 DataBar Expanded : 最小読取り桁数

最小の読取り桁数を設定します。指定した桁数より小さい桁のコードは読取りません。

例：5 桁からのバーコードを読み取る

37. マルチスキャン設定より「%2903M%」を読取り

38. 数字コード P108、P110 より「0」→「5」の順で読取り。

39. これで 5 桁からのバーコードを読取ります。

マルチスキャン設定	数字コード	内容
 %2903M%	0→0 ※デフォルト	無制限になります。
	01～99 まで	指定した桁からのバーコードを読みます。

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

34-4 GS1 DataBar Expanded の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %2906M%	0→0	無効	 %2906D00% *
	0→1	有効 ※デフォルト	 %2906D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

35. PDF417

35-1 PDF417 の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %3001M%	0→0	無効	 %3001D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %3001D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

36. QR Code

36-1 QR Code の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %4001M%	0→0	無効	 %4001D00%
	0→1	有効 ※デフォルト	 %4001D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

37. Data Matrix

37-1 Data Matrix の読取り

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %4101M%	0→0	無効 ※デフォルト Ver1.3.2 以上	 %4101D00%
	0→1	有効 ※デフォルト Ver1.3.2 未満	 %4101D01% *

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい

※V1.3.2 以上はデフォルト「無効」になっております。

FW 確認 (メモ帳などを開いて読み取ります。)



38. 出力文字の編集

38-1 先頭に文字を付加する

読み取ったバーコードの先頭に文字を付加できます。

例: 「A」を挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	A 123456

1. 設定開始を読取ります。



%8001M%

2. 付加する文字を設定します。

「A」 付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

		USB(HID)		RS-232C VCOM		
		0	1	0	1	
H	L	0	Null		NUL	DLE
		1	Up	F1	SOH	DC1
		2	Down	F2	STX	DC2
		3	Left	F3	ETX	DC3
		4	Right	F4	EOT	DC4
		5	PgUp	F5	ENQ	NAK
		6	PgDn	F6	ACK	SYN
		7		F7	BEL	ETB
		8	Bs	F8	BS	CAN
		9	Tab	F9	HT	EM
		A		F10	LF	SUB
		B	Home	Esc	VT	ESC
		C	End	F11	FF	FS
		D	Enter	F12	CR	GS
		E	Insert	Ctrl+	SO	RS
		F	Delete	Alt+	SI	US

H	L	2	3	4	5	6	7
0		SP	0	@	P	`	p
1		!	1	A	Q	a	q
2		“	2	B	R	b	r
3		#	3	C	S	c	s
4		\$	4	D	T	d	t
5		%	5	E	U	e	u
6		&	6	F	V	f	v
7		‘	7	G	W	g	w
8		(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A		*	:	J	Z	j	z
B		+	;	K	[k	{
C		,	<	L	\	l	
D		-	=	M]	m	}
E		.	>	N	^	n	~
F		/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

3. 文字の確定 (%END%) を読取ります。



4. 設定したコードの送信を有効にします。
上から順にコードを読取ります。



0



1



%END%

5. 下記のテストコードを読取り、付加した文字が送信されることをご確認下さい。



38-2 末尾に文字を付加する

読み取ったバーコードの末尾に文字を付加できます。

例: 「A」を挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	123456 A

1. 設定開始を読取ります。



%8002M%

2. 付加する文字を設定します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D

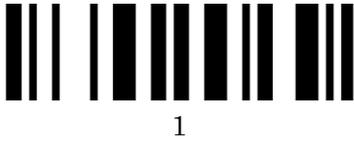


F

3. 文字の確定 (%END%) を読取ります。



4. 設定したコードの送信を有効にします。
上から順にコードを読取ります。



5. 下記のテストコードを読取り、付加した文字が送信されることをご確認下さい。



38-3 文字を任意の位置に挿入する

読み取ったバーコードの指定した桁の間に文字の挿入が可能です。

例: 「AB」を2文字目の後に挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	12 AB 3456

1. 設定開始を読取ります。



%8005M%

2. 挿入する文字を設定します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

3. 文字の確定（%END%）を読取ります。



4. 挿入位置を指定します。

設定開始（%8101M%）を読取ります。



5. 挿入する桁を指定します。

2桁目のコードの後に挿入する場合は「0」→「2」を読取ります。





%END%

6. 下記を読み取り、これらの設定を有効にします。



%0407M%



0



1



%END%

7. 下記のテストコードを読み取り、付加した文字が送信されることをご確認下さい。



123456

38-4 文字を別の文字に置き換える。(置換機能)

指定したバーコードに含まれる文字を別の文字に置き換えることができます。

置き換えパターンは2パターンまで登録が可能です。

例: 「A」を「B」に置き換える設定を行った場合

元のデータ	123 A5A
設定後の出力データ	123 B5B

1. 置き換え文字の登録を行います。

初めて登録する場合はパターン1、追加で登録する場合はパターン2の読取りを行います。

パターン1



%8014M%

パターン2



%8015M%

2. 置き換えたい文字を選択して設定します。

「A」を別の文字にする場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにあります。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
0		Null		NUL	DLE
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

3. どの文字に置き換えるかを設定します。

設定した文字を「B」に文字を置き換える場合は「4」→「2」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにあります。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
A	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

4. 最後に下記の「%END%」を読み取って設定完了です。



%END%

5. 実際にコードを読み取って動作を確認して下さい。

38-5 文字を別の文字に置き換える。(置換機能・複数)

複数の文字の置き換えが可能です。(11文字まで)

例：「A」→「B」 「C」→「D」 「E」→「F」と設定した場合

元のデータ	123A4C56E78
設定後の出力データ	123B4E56F78

1. 設定開始 (%8016M%) を読取ります。



2. 置き換え元になる文字を1文字、設定します。

「A」を別の文字に置き換える場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにございます。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
	0		Null		NUL
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

3. 置き換え後になる文字を 1 文字、設定します。

設定した文字を「B」に置き換える場合は「4」→「2」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにあります。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

4. 上記で 1 文字が別の文字に置き換わります。
続けて変更する文字を登録する場合は項目 2 (P95) まで戻ります。
設定を完了する場合は下記に進みます。

5. 最後に下記の「%END%」を読み取って設定完了です。



%END%

38-6 先頭又は末尾から文字を抜き出す

先頭、又は末尾から文字を抜き出すことができます。

※両方の設定は出来ません。

※文字の間を抜き出しは出来ません。

1.先頭、末尾どちらから文字を抜き出すかを選択します。

マルチスキャン設定	内容
 %8211M%	先頭から
 %8212M%	末尾から

2.P110 より桁数を設定します。

例：先頭より9桁抜き出す場合は「0」→「9」と設定します。

※1～99文字まで設定可能です。

3.最後に設定完了を読み取って設定完了です。



39.出力文字の編集 2

39-1 コード名の表示

バーコードの種類名 (CODE39 や CodaBar 等) を表示させることができます。

例：12345 という CODE39 のバーコードを読み取った場合「**CODE39** 12345」と

先頭にコードの名称が表示されます。

※JAN 等の一部のコードは EAN 等と一部、海外表記・別称で表記されます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %8203M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %8203D00% *
	0→1	有効	 %8203D01%

39-2 コード ID の表示

バーコードに割り振られたコード番号を送信することが可能です。

このコードは別途、任意に割り振ることも可能です。

詳細は P102 ページをご確認下さい。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %8206M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %8206D00% *
	0→1	Proprietary ID	 %8206D01%
	0→2	AIM ID	 %8206D02%

39-3 コード名の文字数の出力

バーコードに含まれている文字数を出力できます。

例：「12345」バーコードを読み取った場合「**5** 12345」と

先頭に文字数が表記されます。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %8207M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %8207D00% *
	0→1	有効	 %8207D01%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

39-4 大文字→小文字 小文字→大文字固定変換送信

設定を行うことでバーコードの大文字・小文字を任意に指定して送信が可能です。

マルチスキャン設定	数字コード	内容	クイックバーコード
 %8206M%	0→0	無効 ※デフォルト	 %8208D00% *
	0→1	大文字 (バーコードのみ)	 %8208D01%
	0→2	小文字 (バーコードのみ)	 %8208D02%
	0→3	小文字 (全てのデータ)	 %8208D03%
	0→4	小文字 (全てのデータ)	 %8208D04%

※数字コードは P108、P110 を参照して下さい。

40.コード ID のセッティング

40-1 コード ID の設定

[P97](#) のコード ID にて任意の文字を送ることが出来ます。

※[P97](#) の設定を「Proprietary ID」にする必要があります。

1. コード ID を設定したいコードのバーコードを読取ります。

※「<>」内はデフォルトの ID

UPC-A<A>



%1104M%

UPC-E<D>



%1204%

UPC-E1<D>



%3405M%

JAN-13 (ISBN) <A>



%1304M%

JAN-8<C>



%1404M%

Code 39<M>



%1506M%

Interleaved 2 of 5 <I>



%1606M%

Industrial 2 of 5(Discrete 2 of 5) <H>



%1704M%

Interleaved 2 of 5 <I>



%1606M%

Matrix 2 of 5 <X>



%1806M%

Codabar <N>



%1906M%

Code 128 <K>



%1906M%

UCC/EAN 128 <K>



%2506M%

ISBT 128 <K>



%3306M%

Code 93 <L>



%2106M%

Code 11 <V>



%2206M%

MSI/Plessey <O>



%2306M%

UK/Plessey <U>



%2406M%

China Post <T>



%2606M%

China Finance <Y>



%3207M%

Telepen <P>



%3506M%

GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated) <R>



%2702M%

GS1 DataBar Limited <R>



%2802M%

GS1 DataBar Expanded <R>



%2904M%

2. セットしたい文字を選択します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにございます。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

3. 文字の確定 (%END%) を読取ります。



41. MD630 のバックライト明るさ設定

バックライトの明るさを調整します。

明るさを上げるに連れてコントラスト比が低いコードや
印字の悪いコードへの精度が向上します。

※この機能は FW が「V1.3.2」以降のバージョンで可能です。

FW 確認 (メモ帳などを開いて読み取ります。)



◆設定方法

1. 下記のバーコードを読み取ってください。



2. 設定を行う番号を読み取ってください。

読み取る順番	内容
「0」 → 「0」	バックライト OFF
「0」 → 「1」	バックライトの明るさ 60% デフォルト
「0」 → 「2」	バックライトの明るさ 80%
「0」 → 「3」	バックライトの明るさ 100%



3. 「%END%」を読み取り設定完了です。



◆数字コード（マルチスキャン設定時に御利用下さい）



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

4. 文字の確定 (%END%) を読取ります。



◆初期化

バーコードリーダーの設定を工場出荷時のものにします。



◆バージョンの確認

メモ帳や Excel などを開いて読取りを行います。



◆サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



UPC-E1



EAN-13



ISBN/ISSN



EAN-8



Code 39



Code 32



Trioptic Code 39

(デフォルト値OFF)



Interleaved 2 of 5



Industrial 2 of 5

(デフォルトOFF)



Matrix 2 of 5



Codabar



a01+-.:/\$89a

Code 128



01AZ[+-*]/za98

UCC/EAN 128



01AZ[]+~az54

ISBT 128



=1234 56789

Code 93



01AZ+~/*az89

Code 11

(デフォルトOFF)



123456789-0

MSI/Plessey

(デフォルトOFF)



0123456789

GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)



(01) 12345678901231

GS1 DataBar Limited



(01) 1 2345678 90126 2

GS1 DataBar Expanded



Ab_09+yZ

PDF417



12=890ab-+%xyz

QR code



1234567890ABCD-+)&*%^@# \$!XYZ

Data Matrix



123890abc-+=&*%^!m do

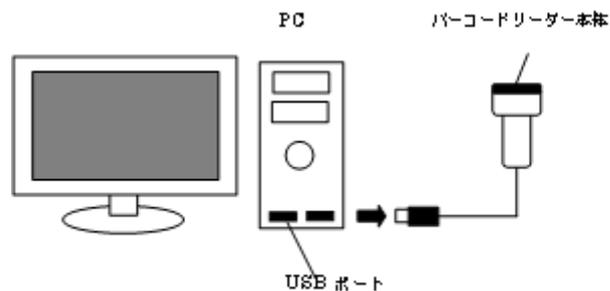
※Ver1.3.2 以上はデフォルト OFF になっております。

◆トラブルシューティング

- Q1. 読み取り音はするが送信が出来ない。
A1. PC との接触不良の可能性があります。

○PC との再接続を行う

1. PC からバーコードリーダーを外します。

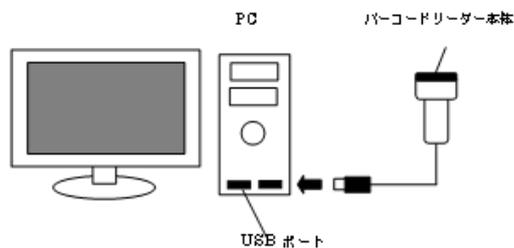


2. PC の再起動を行います。

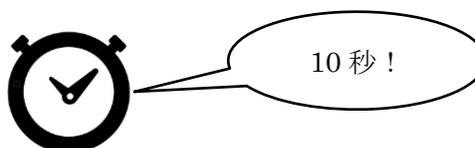


※Windows7 の例

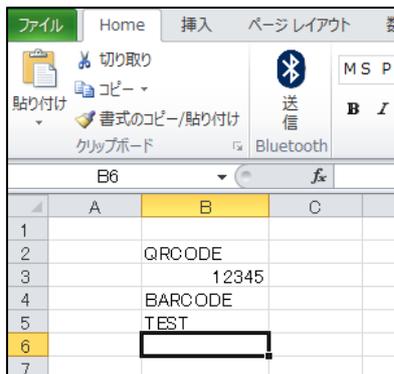
3. 再起動後、PC がスムーズに動作することを確認してバーコードリーダーを接続します。



4. PC と接続後、すぐにトリガーを引かず 10 秒ほど待ちます。



5. メモ帳や Excel を開いて再度読取りを行います。



6. 送信ができない場合は別の USB ポートを使い「1」から行います。
それでも改善出来ない場合はお問い合わせ下さい。

Q2. 日本語入りの QR コードが送信できない・記号が違うものになる。

A2. VirtualCOM（日本語送信ソフト）を御利用下さい。

設定とソフトは下記よりダウンロードください。

○日本語入力・ツール COMTEXT

URL : http://www.media9.co.jp/m_tuhan/support.html

◆スペック等

OMD630

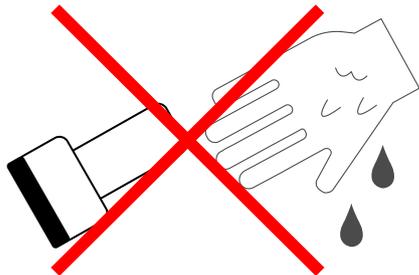
インターフェイス	USB ケーブル(HID・VirtualCOM 対応) ※商品に付属
光源	625±5nm 白色 LED
受光	752(H) × 480(V)ピクセル
スキャン角度	±65° , ±65°
読取深度	13mil UPC(6 字): 0.5cm ~ 13.0cm(PCS=80%)
分解能	5mil(0.127mm)Code39 (3 文字):1.5 cm ~5.5cm 13mil(0.3302mm) UPC (6 文字):0.5 cm~13.0 cm 20mil(0.508mm) Code39 (5 文字):4.0 cm ~18.0cm 6.7mil(0.17018mm) PDF417 (20 文字):1.0cm~8.2 cm 10 mil(0.254) DM (20 文字):1.0cm ~8.0 cm 20mil(0.508mm) QR (20 文字):1.5 cm~16.5cm
読取可能幅	-
入力電源	DC5 V±0.25 V
消費電流	80mA(スタンバイ時)240mA(動作時)
使用温度	-10~50℃
湿度耐性	5% ~ 95%(結露なきこと)
衝撃耐性	2.0m の落下耐性(30 回テスト)
外形寸法	82x69x178mm
重量	146g, ケーブルを除く
素材	ABS 樹脂
ケーブル	2m ストレートケーブル
対応コード1	UPC-A, UPC-E, UPC-E1, JAN-13, JAN-8, ISBN Code 39, Code 39 full ASCII, Code 32, Trioptic Code 39, Interleaved 2 of5, Industrial 2 of 5 (Discrete 2 of 5), Matrix 2 of 5, Codabar (NW7), Code128, UCC/EAN 128, ISBT 128, Code 93, Code 11 (USD-8), MSI/Plessey, UK/Plessey, China Post GS1 DataBar (旧:RSS)
対応コード2	PDF417/DataMatrix ・QR Code 訂正レベル:L/M/Q/H バージョン:1~40 まで対応 ※コントラスト比 80%以上
対応 OS	Windows98, Me,2000,XP,Vista,7,8,8.1,10 Mac OS X v10.9~10.11 以降対応
対応 OS (付属ソフト)	WindowsXP(SP3 以上),Vista,7,8,8.1,10 ※Windows8 や 8.1 は未署名ドライバのインストール許可が必要です。

	<p>PCにより設定が異なるのでご確認の上、ご利用下さい。</p> <p>※Windows側にソフトの常駐や起動時の設定が必要です。</p> <p>※QRコードに制御コードや特殊文字(旧漢字等)が含まれる、100文字以上のデータである場合は対応できない場合があります。</p>
安全証明等	<p>レーザー安全性:EN60825-1、クラス1(パターン形成)</p> <p>※白色LED照射</p> <p>EMC:EN55022, EN55024</p> <p>電気安全: EN60950-1</p> <p>光安全性:EN62471:2008</p> <p>明るさ:0~100,000LUX(白色ダイオード)</p> <p>IP 準拠:IP52</p>
インジケータ	<p>ビープ・LED</p>
保証期間	<p>初期不良:商品到着から7日</p> <p>無償修理:商品到着から1年間(送付バックでの修理になります)</p>

◆メンテナンス

1. トリガーを引く際に、手が濡れている状態で利用しない。

濡れた手、油等で汚れた手等でバーコードリーダーに触れると故障の原因になります。



2. 筐体が汚れたらすぐにクリーニングを行う。

外部に水滴が付着した、汚れた、又は長期間の保管後に使用する際は清掃を行って下さい。

軽く濡らしたタオル等でサッと拭き取り、乾いたタオルでしっかりと水気を取ります。

